

=新旧編集委員対談= ゴルフストリーム編集委員の魅力 (続き)

津島: 次のトピックで編集委員を通じた人的ネットワークの広がりについて聞きたいです。私は最初、上司の指示で編集委員に加わった時は正直渋々だったのですが、編集委員になってみると皆様とても仲良く気さくな方ばかりで、仕事では関われない方と繋がり、様々な情報も得られて非常に良かったと感じています。

鶴飼: やはり人的ネットワークは編集委員をやっているといないとで全然違いますよね。編集委員をしないとどうしても会社や取引先の間人間関係に閉じこもりがちになってしまいます。ゴルフは多種多様な人が参加していて、特にヒューストンに住んでいるけど会社に所属しているわけではないという方と知り合うには最適。またヒューストン在住歴が長い人からヒューストン現地ならではの話を聞けるのも魅力だと思います。

津島: 私はヒューストンに駐在してから1年後にゴルフ編集委員になりましたが、3-5年程度の駐在員生活の中で、なるべく早いタイミングでこういった編集委員コミュニティに入れたのは非常に有益だったと思います。

津島: 人的ネットワーク以外に、編集委員になったことによる意外な利点ってありましたか？

鶴飼: 商工会情報やイベントの情報を早めに入手できるというのがありますね。

津島: 確かにゴルフは数ヶ月先の記事まで予定を立てていますので、他の方はゴルフを読んで初めて気が付く情報に、編集委員は数か月前から触れられますよね。

鶴飼: あとは編集会議で**大道**の美味しいお弁当を食べながら、編集員の皆様とヒューストン界限での最近の流行りや最新イベント情報など様々な話ができるのもいいですね。

未経験者歓迎・編集会議は月一回ハイブリッド形式で開催で小さなお子様がいてもご自宅で作業が可能。編集委員対談にある通り、和気あいあいとしたアットホームな雰囲気や懇親会もあり人脈づくり・情報収集にも最適です。
お気軽に事務局までお問い合わせ下さい。(Email: sansuikai@jbahouston.org)

津島: そうですね。あとは年に1-2回ほど編集員懇親会があるのもいいですよ。ウイリアム泰子さん(編集委員)の牧場で懇親会を開催した時は、子供が非常に楽しんでいました。

鶴飼: あとは人的ネットワークも繋がりますが、普段自分が行かないような場所に連れて行ってもらえるというのがあります。私は去年米元さん(編集委員)と一緒にラオスのお寺に行きまして、駐在していてもなかなか行かない場所ですので貴重な経験が出来ました。(今月号(2023年8月号)11ページ参照)

津島: ゴルフストリームの一人の読者の視点としては、ゴルフにどういった印象を持っていましたか？

鶴飼: バリエーションに富んでいるというのが良いところかなと思います。12ページ/月あってビジネス系のお堅い記事やイベント記事から旅行記事や子育て記事等の柔らかい記事まで様々なジャンルがあるので、どんな人でも自分に合う記事がいくらかはあるんじゃないかなと思います。また、SNSやブログだと自分の読みたい部分だけ検索して読みますが、ゴルフだと自分の読みたいところのついでに他の記事も読むといったことが出来て良いと思います。

津島: 本日は有難う御座いました。今後ともゴルフストリームで多くの方から興味を持ってもらえるような記事を出していけるよう頑張りますので、日本にご帰国後もご協力頂けますと幸いです。(編集委員:津島 博紀)

▼編集委員懇親会の様子



会社紹介

SCSK USA Inc.

正団体会員 代表 重松 浩司 さん

1. 会社の業務内容等について簡単にご説明ください。

SCSK USA Inc.は、住友商事グループのITソリューション会社であるSCSK株式会社の100%子会社として1987年に設立されました。ニューヨークに本社を置き、テキサス州アービングとカリフォルニア州サンタクララに支店を構え、米国に進出されている日系企業様の戦略的ビジネスパートナーとして、ITワンストップサービスを提供しています。アービングのオフィスは1996年に設立され、テキサス州の日系企業様を中心に約30年に亘りサービスを提供させて頂いております。サービスには、ITコンサルティング、アプリケーション開発、インフラ・ネットワーク構築、セキュリティ対応が含まれます。近年はDX、データ可視化・分析などのデータ活用ソリューションにも力を入れております。米国のスタートアップの発掘とこれらスタートアップへの投資を行うと共に、日系企業様がスタートアップを評価される際のリサーチや技術検証などもサポートさせて頂いております。日本のグローバルHQを含め、米国、英国、シンガポール、上海、インドネシア、ミャンマーの7つの国から、全世界に展開されている日系企業様のITをサポートしております。

2. ヒューストン/テキサス州の印象についてお聞かせください。

私はアービング(ダラス近郊)のオフィス創設時からのメンバーでテキサスには30年弱在住しており、ヒューストンには担当させて頂いているお客様がいらっしゃるのと、義理の姉夫婦、姪の家族が長く住んでいることもあ

り、非常に馴染みのある場所です。ヒューストンは特に西にエリアが広がっている印象で、そのスピードと活気に驚いています。ダラスも昔と比べ街の様子は大きく変わり、生活面では日本食材の入手を含め非常に便利になった一方、人と車の増加が止まらず、Tollを払っても渋滞する現状に少し憤っています。ダラスに来た時に6か月の赤ん坊だった次男も結婚し、オースティンに住んでおりますので、夏は暑い、冬は寒い、トルネードが怖いという問題はありながら、少なくともあと少しはテキサスに居るのかな、と考えています。

3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください。

これ、という趣味はありませんが、敢えて言うと20年落ちのBMWをここ10年くらいはショップに出さずに自分で修理・メンテナンスしていること、必要に迫られている部分が多々ありますが、家の中のいろんなものが壊れた時にネットで調べて自分で修理し、上手く修理出来た時に自己満足していること。庭で野菜を育てているのですが、肥料としてありとあらゆる生ごみを投入しているので、突然得体の知れない植物が成長し始め、妻と二人で何が出て来るか予想しながら、メロンが出てくると、「ああ、去年食べたね」と答え合わせしているくらいでしょうか。あと、量は飲みませんが、飲みながらいろいろと話すのは好きなので、是非お声がけ頂ければと思います。写真を撮るのは好きなのですが、撮られることに興味がなく自身が写っているものが極端に少ないのですが、掲載させて頂いた写真は古くからの友人がNYでオープンしたレストランに行った時に撮ったもので、右側が私です。(顔が怖いですが怒ってはいません)

